

IAMAS 図書館便り

IAMAS [イアマス] とは、情報科学芸術大学院大学の英語表記の頭文字を取った略称です。



特集 クリティカル・サイクリング 赤松正行

→自作を語る／思い出の一冊／学生に薦める一冊

- 図書館を活用する
- IAMAS: Triptyque を始めて

この特集では、IAMASの教員に、自著・思い出の一冊・お薦めの本などを紹介してもらいます。第12回は、赤松正行教授です。

→自作を語る

クリティカル・サイクリング (<http://criticalcycling.com/>)

2016年4月に自らの研究対象を自転車にした。その際に提唱したのがクリティカル・サイクリング。すちわち、自転車に乗ること（サイクリング）は楽しいだけでなく、行動や社会の指針になり得ることを解き明す（クリティサイズ）。この取り組みは多くの賛同を得て活動を拡大することになり、その批評性を展開する場として設けたのがcriticalcycling.comだ。

ブログ形式で取り上げる内容は多岐に渡る。例えば美術ならデュシャンからアイ・ウェイウェイまで多士済々。音楽や映画、小説や法令もあれば、アクセサリーやファッションも取り上げる。技術的にはHoloLensやRealSenseなど最新機材が並び、プログラム・コードも掲載する。いずれも自転車に関連しており、フクイチを含むライド・コースや電動アシストのハック、研究制作なども紹介する。

現在の記事総数は約350本で、3日に1回の割合で記事を公開している。最近では他のメンバーの執筆も増え、外部からの寄稿もいただいている。自転車に関連した自らの経験を元に何らかの考察を試みることがポリシーで、単なる情報提供は行わない。このような研究と実践に興味があれば、ぜひ参加してほしい。週末にライドするだけでも大歓迎。

ちなみに自転車物語ではないが、過去に出版した書籍は単著・共著合わせて20冊以上になる。だが、今回選んだのはWEBサイト。これは最新の著作であるだけでなく、書籍や出版業界に辟易しているからだ。出版不況や電子書籍元年が叫ばれても、此の国の状況は遅々として改善されない。それが証拠に図書館には電子書籍が導入できず、以下に紹介する2冊の名著も絶版らしい。

→思い出の一冊

フリードリヒ・キットラー著『グラモフォン・フィルム・タイプライター』

かつてIAMASにDSP (Dynamic Sensory Programming) コースがあった頃、その論理基盤のひとつであったのが本書。グラモフォンは音響、フィルムは映像、そしてタイプライターは文章と3種類のメディアを表し、それぞれの特性を克明に解き明かす。ラカンの精神分析を参照しながら、音響=レアル（現実的）、映像=イマジネール（想像的）、文章=サンボリック（象徴的）と表象するのも秀逸。単純には最初の2つは逆だと思っただけに、思考の鍛錬にもなった。さらにそれらの共通項を探り、橋を渡し、統合しようとする。このような思索は音響映像処理（シンボル操作）の熱量が高かった時代にピッタリだった。だが、ここには明らかな欠損がある。もちろん、それは自転車であり、より広く言えば身体性だ。



筑摩書房
/1999年

→学生に薦める一冊

ポール・オースター著『ティンブクトゥ』

ポール・オースターは、ニューヨークはブルックリン在住の小説家・詩人。アイデンティティをテーマにしたポストモダニズム的作品が多く、乱暴に言えばアメリカの村上春樹が描く自分探しの旅。なので、登場人物は喪失感をかかえた青年や老人が多いのだが、『ティンブクトゥ』の主人公はなんと年老いた犬。しかも長く連れ添ったホームレスのご主人様に先立たれ、新しい飼い主を求めるともなく求めて転々とする。擬人化された彷徨譚と言えなくもないが、犬目線と犬行動は意外な世界を垣間見せてくれる。そして矛盾した状況や皮肉な展開を経て、最後の大円団に感嘆する。老犬が道路を横切ろうとする行為に、人生の原理が潜んでいるからだ。哲学書や理論書も良いが、洒落た小説もお薦めしたい。



新潮社
/ 2006年

図書館を活用する その6 分類とブラウジング

図書館は、本をその主題によって分類し、本棚に並べている。国内の多くの図書館ではNDC（日本十進分類法）とよばれる分類法を採用している。そのため、はじめて訪れる図書館であっても、関連する本はおよそ同じ本棚に並んでいるので、NDCを覚えておくとお自分の興味・関心のあるジャンルの本を容易に探すことができる。

NDCでは、〈3桁の数字〉で分類を表記している。たとえば、913であれば、右のような意味である。左から順に主題が大から小へと絞り込まれていく。日本文学の小説というだけでは大雑把で、近代の日本文学の小説のようにさらに詳しく分類するときは、913の後にピリオドを打ち、近代を表わす「6」を使って、「913.6」とする。

9	1	3
∴	∴	∴
文	日	小
学	本	説

右下の表は、〈3桁の数字〉の一番左側の数字とその区分である。それぞれの区分はさらに10区分に分けられ、さらにそれぞれを10区分に分ける。このように細分化された区分のいずれかに本は分類される。しかし、本には複数の主題を扱っているものもある。そのため、1冊の本に複数の分類を与えることがある。一方で、本棚に置ける場所は1か所しかない。そのため、ある本が図書館によって別の分野の本棚に並んでいるということもしばしばある。

0	総記	5	技術
1	哲学	6	産業
2	歴史	7	芸術
3	社会科学	8	言語
4	自然科学	9	文学

また、分類にとらわれずに、テーマごとにコーナーをつくっている図書館もある。IAMAS図書館でも、コンピュータに関連する本はコンピュータコーナーにまとめている。コンピュータコーナーの本は、0からはじまる情報科学、5からはじまる技術、6からはじまる産業など、NDCに従うといくつもの本棚に分かれてしまうところを1つのコーナーにまとめることで、利用しやすくしている。

1つの主題のもと、さまざまなタイトルの本や多くの著者による本が1か所に並べられているのが図書館である。目的の本だけでなく、その本が並べられている本棚をながめてみよう。これをブラウジング (browsing) という。Webサイトを閲覧するときのブラウザ (browser) と同じくブラウズ (browse) が元になった言葉である。ブラウジングすることで、それまで思い浮かばなかったキーワードを用いたタイトルの本があることに気づくかもしれない。時間があるときには、いつもの本棚とは異なったジャンルの本棚も見てみよう。新たな発見があるかもしれない。

IAMAS: Triptyqueを始めて

2018年度より、メディア表現学研究プロジェクトにおいて、図書館での映像展示を開始した。「IAMAS: Triptyque」と題したのは、図書館の書棚の間に設置された3台のディスプレイを共通のメディアとして、映像表現の可能性を自由に実験するためのシリーズとして位置づけるためであった。

この展示を開始した背景に、サイトスペシフィックな条件で、映像表現のあり方を考えてみたいという動機があった。つまり、この枠組ではシングルチャンネルで完結する映像作品にはなにくく、観客の動線や視聴体験は、いわゆるホワイト・キューブを前提とした展示と異なる。例えば、サイネージのような映像も含めて、様々な提案の可能性がある。また、書籍と映像メディアの組み合わせから、新しい作品の着想を得ることができるかもしれない。このような想定のもと、2018年度、展示に取り組んだのは、原田和馬、山田聡、ucnvの3名である。

原田は、「グリッチ」とマウスのボタンを押すクリック（人為的な操作）の関係に注目した展示を行った。偶然性の表現としてみなされてきた「グリッチ」に対し、「グリッチらしさ」を表現形式として受け入れ、その上で「グリッチ」表現の背後にある偶然性と意図的な操作との共創のプロセスを開示し、「グリッチ」表現の現在性を分析してみせようとした。

山田は、図書館という環境から作品のあり方を模索し、『 に捧ぐ』と題した作品を発表した。書籍の「謝辞」と読者の関係に注目し、各ディスプレイの両脇の書棚に並ぶ書籍の謝辞のページをスキャンし、表示するという提案である。書籍の形式の中にひそやかに挿入されたメッセージへの着目は、共感を引き出し、他の図書館でも展開可能な新たな試みとなった。

ucnvは、スマートフォンでの発表を前提とした《Twilight》を、3台のディスプレイ向けに再構成し、新作を発表した。縦に設置されたディスプレイをスマートフォンに見立て、スマートフォンで映像を撮影する行為とそこに強制的に介入するバッテリー残量低下通知、さらにはその状況を視聴する観客という関係を、観客の視点をずらすことで巧みに表現した。（伊村靖子講師）



原田和馬 《click/ glitch》

■開館時間 月~木 10:15-19:00 / 金 11:15-20:00

■休館日 土曜日・日曜日・祝日、年末年始、臨時休館日（蔵書点検など）

■貸出

学生 20冊・3週間以内

卒業生 5冊（図書のみ）・2週間以内

学外者 2冊（図書のみ）・2週間以内

<学外の方の利用資格>

- ・岐阜県在住・在勤の高校生以上の方
 - ・東海地区大学図書館協議会加盟大学の学生
- ※自習目的でのご利用はお断りいたします。



情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 附属図書館 編集・発行

〒503-0807 岐阜県大垣市今宿6丁目52番地18 ワークショップ24 1F

TEL・FAX: 0584-75-6803 URL: <https://www.iamas.ac.jp/lib/>